

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事 -打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応 -日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携 -保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ 風の子クラブ ） 【名 前】（ 鳥居恵治 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

私は 4 月から指導員に就いたのだが、一番感じたのは子どもたちの命を預かっているということである。したがって、子どもたちの健康や安全に細心の留意が必要である。そういう点では健康管理・安全管理は参考になった。毎日の視診や手洗い・うがいの徹底は大切である。学童保育所が伝染病の媒介所にならないように留意しなければならない。

また、安全面では、ヒヤリ・ハットがないように指導員の連携が必要である。また、子どもたちが自ら考え、判断できるように経験を通して少しずつ自分で自分の身を守る力を身につけるようにしたい。

また、保護者との連携も参考になった。私達は家庭での子どもたちの生活は見えていない。家庭や学校で何があったかはわからない。したがって推測するしかない。子どもの気持ちを受け止め、何が最善かを考えていかなければならない。自分はまだ保護者とのコミュニケーションがうまくできない。これからの課題である。保護者の方が安心して子どもを預けることが出来るような指導員になりたいと考えている。

学校の施設を積極的に利用出来るよう取り組んでいきたいとニュースで報じられていたが、本当にそうなるのであろうか。学童保育の環境整備が必要である。

いずれにしても、保護者が学童保育に預けてよかった、子どもたちが学童保育に入ってよかったと思えるように指導員として頑張っていきたい。